

2014年6月10日

福島県知事

佐藤 雄平 様

除染目標の目安を引き上げないよう求める申し入れ

日本共産党福島県議会議員団

団長 神山 悦子

阿部裕美子

宮川えみ子

長谷部 淳

宮本しづえ

環境省が、除染目標の目安引き上げを検討しているとの報道を受けて、県民から不安と不信の声があがっています。原発事故の原因者である国自らが、被ばく線量低減のための市町村と県民の努力に水を差し、福島県を事故前の環境に戻す責務を放棄する議論であり断じて許されません。

この間の議論の積み上げを無視し、「年間追加被ばく線量1ミリシーベルト」の目安である空間線量“毎時0.23マイクロシーベルト”を見直すとすれば、除染目標自体が骨抜きにされ、除染そのものの必要性が失われかねません。基準の線量に低減するまで何度でも、国と東京電力の責任で除染を行なわせることこそ重要です。

よって県においては、除染目標を堅持する立場で以下の事項について国に求めるよう強く要望します。

- 1、除染目標目安の引き上げは行わず、空間線量毎時0.23マイクロシーベルトの達成まで責任を負うこと。
- 2、除染にあたっては、住民の納得と合意を前提とすること。
- 3、リスクコミュニケーションや長期に渡る医療保障・健康づくりは、どれも国が責任を持つべき重要かつ別個の課題であり、これらによって除染の責任がいささかも免ぜられるものではないこと。

以 上